

## コマツナ新病害の発生

神奈川県のコマツナ出荷量は全国第4位（平成25年）で、コマツナは都市農業にかかせない野菜です。コマツナではこれまでに様々な病気の報告がありますが、平成26年度、県内で、国内では過去に記録がない病気が発生しました。コマツナでは初めての細菌病で、今後の被害拡大を防ぐため、原因菌を明らかにし、病名を「コマツナ黒斑細菌病」（新称）としました。病原菌はアブラナ科作物に広く病気を起こし、緑肥用エンバクにも病気を起こすことがあります。被害拡大を未然に防ぐ必要があります。



図 2014.4～2015.3に  
県内のコマツナ生産ほ場  
で発生した斑点症状

表 コマツナ分離株の各種植物に対する病原性

	A市分離株	B市分離株	C町分離株
アブラナ科 コマツナ	+	+	+
” ミズナ	+	+	+
” ハクサイ	+	+	+
” カブ	+	+	+
” カリフラワー	+	+	+
” キャベツ	+	+	+
” ブロッコリー	+	+	+
” ダイコン	+	+	+
イネ科 エンバク	+	+	±
” エンバク野生種‘ハイオーツ’	+	+	±
” エンバク野生種‘ニューオーツ’	+	+	-
ナス科 トウガラシ	+	+	+
” トマト	+	+	+

- : 病徴なし, ±: わずかに病徴あり, + : 病徴あり

$1.0 \times 10^{6-8}$  cfu/ml 接種

x) アブラナ科野菜黒斑細菌病菌（長野県野菜花き試験場より分譲）

y) アブラナ科野菜黒斑細菌病菌（ジーンバンクより分譲）